

としょかんのクリスマス会報告！ 2017.12.23



今回も人形劇団いちごじゃむさんをお呼びして、図書館のクリスマス会を行いました！約200名の親子連れが集まってくださって、会場は満員に★

いちごじゃむさんの楽しい人形劇、子ども図書館サポーターによる手遊び、そして最後にサンタクロースの登場！…とたくさんの子どもの笑顔とともに素敵な時間を過ごすことができました。クリスマス会終了後、図書館の中のミニクリスマスツリーに子ども達が次々とオーナメントを付けてくれて、とってもかわいいツリーが完成しました。



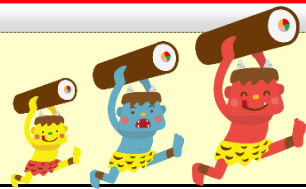
ミヤザキケンスケさんがやってくる！

3/18(日)

ワークショップも開催決定！

世界をまたにかけて活躍する佐賀県出身のアーティスト「ミヤザキケンスケ」さんが鹿島市民図書館にやってきます！会いに来ませんか！詳しくは、次号でお知らせします☆

開館カレンダー



● 開館時間 ●

平日：9時30分～19時
土日祝：9時30分～17時

● おはなし会 ●

- あんころもち(0才)
火曜 14時～
- きびだんご(0～3才)
第1・3水曜 14時半～
- おはなし会(3才～)
土曜 14時～

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

3月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

としょかん日記

2月といえば、バレンタインデー。皆様、何らかの思い出の1つや2つはあられることでしょう。私もヒヤヒヤ・ニヤニヤ…いろんなことが思い出されます。

さて、図書館に『うっとり、チョコレート』河出書房新社：出版という、村上春樹・浅田次郎等、豪華執筆者によるバレンタインやチョコに関するエッセイ集があるのですが、とってもおもしろいです。文豪達にとっても、バレンタインやチョコは何か特別なもののようです。ちなみに、今年の自分の思いは一つ…誰か息子にチョコをくれんやろうか？ (M)



今月のみんと

- 冬の特大おはなし会
 - 館長コラム
 - うたってあそぼう♪わらべうた
 - 赤ちゃんセット第2弾 登場！！
 - 私と図書館 ～Vol. 2～
 - プレゼントクイズのお知らせ
 - としょかんのクリスマス会 報告
 - 予告！！
- ミヤザキケンスケさんがやってくる

鹿島市民図書館

一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
2018年1月25日発行



QRコード

冬の特大おはなし会 2月3日(土) 14時～15時

ところ：いきいきルーム

(エイブル1階保健センター内)

対象：どなたでも ※参加無料・申込不要



■ 幻燈(げんとう)とは…

スライドなどの絵や写真に専用の機械で光をあてて、スクリーンに拡大して映し出すもの。映画ができるまで、大人気でした！

プログラム

- ◎ 冬のおはなし2つ
- ◎ 幻燈スライド上映
「かさじぞうさま」
「プレーメンの音楽隊」
- ◎ 影絵あそび
- ◎ 風船はねつきあそび

「藤津図書館」

藤津図書館(鹿島市民図書館の前身)の創設と運営には、藤津郡教育会が主導的な役割を果たしました。この教育会は郡教育の普及と改善を目的とし、学校教員など教育関係者によって明治27年に創設された社団法人です。従って、藤津図書館は昭和6年に鹿島町立の図書館になるまで私立図書館として運営されていたこととなります。

図書館開設にあたり23條からなる規則が設けられました。まず、年齢による閲覧の制限です。満12歳以上ならば閲覧室で全ての本を閲覧できましたが、12歳に満たない者は児童室で特定の図書に限り閲覧できるとされています。ただし、規則の中に「閲覧料を徴せず」と明記しており、年齢性別に関係なく誰でも無料で閲覧できました。また、読みたい本が蔵書に無かったときでも、本館の佐賀図書館に蔵書されている場合は取り寄せて閲覧が可能であると記されています。

次に本の貸出についてです。当時の図書館利用はもっぱら館内での閲覧が主でした。館外への貸出は図書館主任が特別な許可を出した人や公的機関関係者などに限定するとの規則が設けられており、いかに本が貴重品であったかを物語っています。

開閉館の時刻について、平日は午後1時から午後8時まで、日曜祝祭日は午前9時から午後5時までの開館と決められており、平日は学校や会社の終業時刻が考慮されたようです。休館日も、毎週月曜日の他に年末年始や曝書期間、紀元節、天長節などを定めています。ちなみに、オープンから半年間の実績報告書には、開館日数142日、閲覧人員4,971人(一日平均35人)、図書閲覧冊数5,643冊(一日平均40冊)と記録されています。ただし、利用者の8割以上が学生だったため、「学生以外の閲覧者の増加せんことは頗(すこぶ)りに望む所なり」と特記されています。中学生や高校生の利用が低迷している現状とは全く逆の傾向です。

教育会による運営は約12年3ヶ月に及びました。しかし、最終的には経営が思うに任せず、昭和6年3月に建物、蔵書一切を鹿島町に無償譲渡し、鹿島町立図書館へと引き継がれました。

図書館長 前田英明

親子わらべうた講座

うたってあそぼう♪わらべうた

数え歌や子守歌など、子どもの年齢と成長にあわせて歌い継がれてきた“わらべうた”。乳児期のうたは、親子の信頼関係を育む手助けをするものがたくさんあります。お子さんと一緒にうたってあそびましょう！

2月11日(日) 14時～15時半

ところ：エイブル2階 和室
対象：親子(乳幼児から就学前くらい)
およびわらべうたに関心のある大人
定員：20組
参加 無料
図書館カウンター・電話にて申込受付中！

講師
佐賀コダーイセンター
代表 十時 やよいさん
吉富 香織さん



☆お待たせしました☆

赤ちゃん絵本セット

第2弾 登場！！



昨年登場した、赤ちゃん絵本セットは大好評でいつも貸出中でした。そこで、新しい5セットが登場しました～♡
今回は、ピンクのうさぎさんのバッグにそれぞれ違う赤ちゃん向けの絵本が5冊ずつ入っています☆貸出中の場合は、予約もできますよ！みなさ～ん、借りに来てくださいね！

としょかん100周年

私と図書館

～Vol.2～

2018年12月1日、鹿島市民図書館は100周年を迎えます。

図書館との思い出を募集中！館内の応募箱またはメールにてご応募ください。

メールアドレス:

kashimal@theia.ocn.ne.jp

私が鹿島市民図書館に最初に行ったのは、小学校高学年の頃だったと思います。その静かで文化的な雰囲気は、当時の私にとっては非日常的なせかいであり、非常に新鮮でした。物音や声が全くないわけではなく、読書や調べごとには支障のない小さく上品な音や声時々あるくらい。そして、無数の本がジャンル別に整然と並んでいる。そういう図書館独特の雰囲気が好きになりました。

鹿島市民図書館で最初に手にしたのは、プロ野球の歴史に関する本でした。戦後間もない頃に川上哲治がプロ野球史上初の逆転サヨナラ満塁本塁打を打った話など、まるでビデオで見たかのように感動したのをよく覚えています。しだいにSF(空想科学小説)を多く読むようになりました。感動したり夢中になるのものを自分で見つけていくことを自然に学ばせてもらったのだと思います。

私は18歳まで鹿島で過ごしましたが、このような鹿島市民図書館での原体験は一生の宝物です。今住んでいる町の図書館に行っても、図書館独特の一たぶん全国共通の一雰囲気を昔と同じように楽しんでいます。図書館、ありがとう。(M.T)

PRESENT QUIZ～プレゼントクイズ～

図書館からのクイズに挑戦しよう！

☆クイズの問題は、図書館内のヤングコーナーにあります☆

正解者の中から、抽選で雑誌のふろくをプレゼントします。

とき:2月2日(金)～2月21日(水)

ところ:図書館内ヤングコーナー

対象:中学生から大人

【当選者の発表】※図書館内に掲示

3月1日(木)～3月28日(水)

この期間にプレゼントをとりこぎてね★

★注意★ 応募は1人1回です！

新しく届いた本

『キネマの天使』



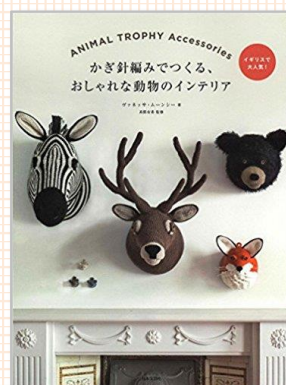
赤川 次郎：著
講談社
主人公・東風亜矢子の職業は、映画の撮影現場で映像に映るすべてを記録・管理するスク립ター。撮影も佳境となったある日、スタントマンが刺殺されてしまう。一体誰が、何のために…！？

『のこった』



星野 智幸：著
ころから
「貴乃花の引退とともに相撲ファンを引退した」という著者が、再び国技館を訪れると、そこには信じられないヤジが飛び交っていた…。相撲界を取り巻く未来を見つめ、警鐘を鳴らす相撲エッセイ集です。

『かぎ針編みでつくる、おしゃれな動物のインテリア』



ヴァネッサ・ムーンシー：著
日本文芸社
インテリアアイテムとして密かに流行している「アニマルトロフィー」。まるでアートのような作品は、全部毛糸でできています。かぎ針編みの細編みを基本にしているので、作り方はシンプル。詳しい作り方も掲載されています。

『ばっちゃん』



伊集院 要：著
扶桑社
行き場のない子どもたちに、毎日無償で手料理をふるまい続ける「ばっちゃん」こと中本忠子さん。非行を繰り返す、大人を信じない…そんな子どもたちが集まるばっちゃんの家。彼女と子どもたちの8年間を記したドキュメンタリー。

『100歳まで動ける体になる筋リハ』



久野 譜也：著
幻冬舎
たった1日5分の「筋リハ」で10年前の健康が取り戻せる！自宅でする8つの「筋リハ」をイラストで解説。筋肉の衰えからくる体の不調を筋肉のリハビリテーションで改善しましょう。